

授業科目名	医療薬学特論／ DC 医療薬学特別講義 I ※	科目ナンバリング	YMP-PHA561(MC 分子薬科学専攻) YLP-PHA561(MC 生命薬科学専攻) YPH-PHA711(DC 薬学履修課程)※	科目区分	選択必修 ／必修※
配当学年	MC 1 年／ DC 薬学履修課程 1 年※	開講時間	月曜 9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	単位数	3 単位／ 2 単位※
担当教員	富岡 佳久、平塚 真弘、眞野 成康、高橋 信行、村井 ユリ子、平澤 典保、 佐賀 利英、高松 昭司、小嶋 文良、高橋 則男、松本 洋太郎				
授業概要	本特論では、病態の理解、実践的薬物治療計画及びアウトカムの評価、病態の知識に基づく創薬への貢献および市販後における評価、医薬品情報の評価、医薬品の適正使用、先導的専門性を有する薬剤師による医療サービスの実践・マネジメント例を学ぶ。更に疾病・病態の理解に基づいた最新の診断分析方法と個別化薬物療法を理解し、将来の医療薬学のあり方について考察を求め演習する。				
到達目標	自らが目指す先導的薬剤師としての役割を自覚し、将来の医療の担い手としての基本を説明できる。を目標とする。				
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）				
回	講義日	担当	項目	授業内容	
1	10/3	富岡 佳久	医療薬学の理論と実践	Pharmaceutical Care と Patient Care、薬剤師に求められる Disease Management、薬剤師の専門化の必要性和ジェネラリストとしての重要性について理解する。米国における急性期医療・慢性期医療における薬剤師活動を理解する。	
2			同 演習	医療薬学の理論と実践に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などを向上できる。	
3	10/17	小嶋 文良	薬物療法のアウトカムの評価と臨床研究	薬剤師の役割として薬効評価や副作用の早期発見、また来局された方のトリアージが重要であり、そのためには患者のバイタルサインの評価が不可欠であることを理解する。	
4			同 演習	実際にバイタルサインの測定を行い、正しい手技を身に付けるとともに薬剤師としてどのように評価するかを理解する。	
5	10/24	眞野 成康	最新化学診断法	質量分析法による各種疾患の化学診断法の進歩や、その技術を応用した TDM の実践並びにバイオマーカー探索に関する最新動向を理解する。	
6			同 演習	化学診断法に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。	

7	10/31	高松 昭司	医薬品開発から市販後安全対策まで	医薬品開発から市販後安全対策について、近年の薬事行政や国際的な動向も踏まえ、承認審査や市販後安全対策の実例を挙げながら概説できる。
8			同 演習	医薬品開発から市販後安全対策に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などを向上できる。
9	11/7	村井ユリ子	医薬品情報の解析・評価と活用	医療への理解を深めるため、医薬品情報の観点から医薬品の適正使用について論じる。医療リスクコミュニケーションや医薬品情報専門薬剤師にも言及する。
10			同 演習	グループディスカッションやロールプレイング形式で様々な情報の解析・評価・活用に関する演習を行い、理解力や表現力などの向上を図る。
11	11/14	平塚 真弘	遺伝子多型診断による個別化薬物療法	薬物代謝酵素や薬物トランスポーターの遺伝子多型診断による医薬品の選択、投与量設定、副作用回避などに関する個別化薬物療法の臨床応用例を理解する。
12			同 演習	遺伝子多型診断による個別化薬物療法に関する演習を様々な方式で行い、理解や表現力などの向上を図る。
13	11/21	佐賀 利英	リスクマネジメントの理論と実践	医療安全の基本的な考え方を学び、複雑な高度先進医療に参画する薬剤師として、リスクをマネジメントする重要性を理解する。
14			同 演習	医療現場でのインシデント事例を基に、ここで学んだ問題解決のための手法を用いて要因の解析と対策を立案する。更に、ここで習得した手法が説明できる。
15	11/28	高橋 信行	妊娠高血圧症候群の病態と治療	妊娠高血圧症候群について、その定義・分類や病態を学び、さらに現在行われている治療法とその問題点、今後向けての展望などを議論する。
16			同 演習	妊娠高血圧症候群に関する演習を様々な方式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。
17	12/12	平澤 典保	糖尿病の薬物治療の進歩	糖尿病の発症と病態ならびに治療薬の作用機構について理解する。さらにその現状での問題点と最新の動向について理解する。
18			同 演習	糖尿病患者のいくつかの所見、検査値からそれぞれに適した処方設計を考察することにより、理解力などの向上を図る。
19	12/19	松本洋太郎	有機化学と薬剤師業務	薬剤師業務ならびに医薬品の幅広い理解に有機化学の考え方が重要であることを概説する。
20			同 演習	有機化学が薬剤師業務のどのような場面で重要なかを考察し、科学的思考の向上を図る。
21	1/16	高橋 則男	医療経済の理論と実践	主に病院経営や患者利益の観点から、薬剤経済学的なアプローチに関する理論と実践について理解する。ジェネリック医薬品の位置づけを理解する。
22			同 演習	薬剤経済学に関する具体的例から理解を深める。

23	1/23	富岡 佳久	がん専門薬剤師 の役割と責務	がん治療における専門薬剤師の役割について理解する。また、次代の治療をより安全かつ有効なものとするための研究の必要性について理解する。
24			同 演習	処方設計支援、副作用モニタリングや重篤化回避に関する演習を様々な様式で行い、理解力や表現力などの向上を図る。
25	未定	富岡 佳久 平塚 真弘 眞野 成康 高橋 信行 村井ユリ子 平澤 典保 松本洋太郎	特論特別講義	複数の特別講義の中から興味のあるものを各自一つ選択し、医療薬学における最新の知見を理解する。
26			同 演習	特別講義を聞いた内容を整理すると共にそれらをより正確な知識とするために関連する総説や論文を読んで理解を深める。また、それらをレポートにまとめるための訓練を行い、文章執筆能力を体得する。
成績評価法		演習における質疑応答とレポートを基礎に評価する。		
教科書・ 参考書		各講義内で指定する。		
その他		*DC医療薬学専攻薬学履修課程		